令和6年度 第2回富良野市社会教育委員会議

と き 令和6年9月17日(火) 18:00～

ところ 富良野市複合庁舎 会議室A

欠席委員：なし

※上野課長の司会にて進行

1. 諮問「令和6年度富良野市青少年表彰について」

※近内教育長より天日委員長へ諮問書を手交

2. 教育長あいさつ(要旨)

- ・来月北海道公民館大会が東神楽町で行われる。高校生が壇上に上がって思いを述べる機会がある。未来を担う高校生が参加いただけるということで心強い。
- ・コミュニケーション意識、帰属意識、地域を担う子どもの育成につながっていく。
- ・公民館を活動の場として使っていただく。不登校の子どもの安心安全な居場所としての公民館。
- ・8月に子ども会として行われたリーダー研修会には63名の参加があった。参加者は様々な体験活動を行う一方でリーダー研修に参加したくてもできない子どもがいる。
- ・体験活動はキャンプだけでなくいろいろな体験をすることによって、大人になってからの判断材料になる考える幅が広がる。経験の差として出てくる。可能な限り参加できるように考えている。体験格差は学ぶ意欲、我慢強さなど大きく変わってくる。
- ・地学協働CSと連携。地域との連携において社会教育委員が担う部分は大きい。
- ・家族の約束7か条⇒時代の変化とともに意味合いも含めて見直しが必要ではないかということで、議論をお願いしたい。

※あいさつ後、近内教育長退席

※以下、副委員長の司会にて進行

3. 委員長あいさつ

- ・青少年表彰は毎年推薦が少なく苦勞しているが、今年は1名の推薦がありホッとしている
- ・年に2回開催しているリーダー研修会は素晴らしいことだ。
- ・子ども会に関わる人が少なくなってきた苦勞しているが、今後に向けて抜本的に見直すことが必要かと思えます。
- ・教育長から前に学校と地域が一緒になって防災教育を進めてほしいと話があった。
- ・東小で防災教育をやる。行政や町内会から13名参加し3・4年生と体育館で段ボールベッドや非常食体験。5・6年生とは⇒CSと地域の方7・8名とで実際の災害を想定した地域としてできる取り組みを考える。地域を巻き込んだ防災教育を検討中

4. 報告事項(藤野係長より報告)

- ・6月28日(金) 全道公民館職員研修会(札幌市)

(佐藤参加)

(係長)

- ・社会教育係より1名参加したが、研修会の中でつながった人脈から、リーダー研修会の中で大学生ボランティアや「メタバースプロジェクト」についての中高生向けの市民講座を開催

するように進めている。

5. 議 題

(1) 令和6年度富良野市青少年表彰について

(資料1)

○推薦数：1個人（藤野係長より被推薦者について説明）

(副委員長)

- ・表彰規則3条ア、ウに該当する。
- ・選考委員会を設置し選考する方法になる。
- ・選考委員については事務局案をお願いする

(係長)

- ・選考委員については天日委員長、中田委員の2名を提案。

※上記について出席委員全員の了承

(副委員長)

- ・今回の会議が終了後に第1回の選考委員会を開催します。
- ・次回の会議で選考委員による聞き取りの結果が報告されます。

(2) 家族の約束7か条の内容見直しに係る協議について

(資料2)

※藤野係長より見直しに係る概要説明

※田畑委員より、富良野市校長会での見直し議論について共有

(田畑委員)

- ・校長会としては結論を出すものとしてではなく見直しに係る考え方等を自由に案を出した。
- ・今までは保護者を対象にした文面⇒子ども・保護者を対象にした文面に変えてはどうか

(委員長)

- ・今後のスケジュールについてはどうなっているか？この会議の中で決定するものとして考えるのか？

(事務局)

- ・社会教育委員会議の中で結論を出すものではなく、校長会と同じく考え方や意見を集め、市P連に投げかけていく。結論をいつの段階で出すのかは今後の議論次第。

(副委員長)

- ・この7か条が作られた経過は前教育長の時代に作った。その意図については作成した前教育長にその意図と想いを含めて経過を確認するべきではないか

(事務局)

- ・確認します

(委員長)

- ・見直しは当然。時代の流れがあるので必要なことではないか。ただもう少し自分なりに文面を読み解いてチェックする時間が必要。

(田畑委員)

- ・校長会の中で案を作れと言われれば作るし、煮詰めて話をしようと思えばできる。必要なこととして校長会で主体的にやっていた。

(委員長)

- ・一般教員の意見も聞いてみたい。どこか教員の方に投げかけてみるのも一つかと思うが

(大橋委員)

- ・子どもたちに向けてなのか？誰に向けてのものかわからない

(上野課長)

- ・そこが整理されていないものになっている。そこを整理してくれたのが田畑委員の意見。

(委員長)

- ・各自がこれを読んで次回の会議の中でディスカッションしていった方が良いのではないか

(副委員長) 遠藤

・ P T A活動についての記載もある。最近は P T A離れ言われているが、富良野は？

(笹田委員)

・ 頑張る人とそうでない人の温度差。二極化していると感じる。

(副委員長)

・ 任意的な活動に対して 7 か条に加えると、活動に対しての強制感を感じるのではないか？

(田畑委員)

・ 市 P 連の側としてどう動くのか？保護者・先生方等 P T Aへアンケートを広く取ることもありかなと思う。なんでもありで集めるのも収拾がつかなくなると思うので、カテゴリーを分けてとってみてはどうか。

(委員長)

・ 決まった後は、その後何年か決まった内容で家庭教育ハンドブックなどに記載されると思うが、見直しの議論を出来るようにすることも大事。

※今後、次回の会議までに各個人で内容について検討をし、意見集約を行う。あわせて校長会や市 P 連への働きかけ・検討、教員・保護者へのアンケートなどにより意見集約することも検討する。

6. その他

(1) 今後の主な日程

【出張・研修会等】

- 10月17日(木)～18日(金) 北海道公民館大会 in ひがしかぐら (東神楽町)
(参加予定：近内教育長・遠藤副委員長・岡本委員・上野課長・藤野係長、
富良野高校・緑峰高校の生徒8名)
- 10月22日(火)～23日(水)
上川管内社会教育委員・公民館運営審議会委員等合同研修会 (美深町)
(参加予定：天日委員長・中田委員・上野課長・片平)
- 11月1日(金)～2日(土) 北海道社会教育研究大会 (網走市)
(参加予定：遠藤副委員長・佐藤)

【教育振興課事業】

- 11月 1日(金)～3日(日) 市民総合文化祭 (複合庁舎)
- 11月23日(木) 富良野市青少年表彰式 (複合庁舎)
- 11月27日(水) 富良野市子ども未来づくりフォーラム (複合庁舎)
- 1月12日(日) 富良野市はたちを祝う会 (複合庁舎)

☆次回、第3回社会教育委員会議の予定

※次回は10月第2週頃を予定する